福島第三小学校の保護者の皆様へ　～学校の新たなスタートに当たって～

新型コロナウイルス感染症対策のために始まった長期に及ぶ臨時休業。これまでの間、分散登校をはじめ、少しずつ学校の日常を取り戻す取組を進めてまいりましたが、本日、ようやく通常登校を再開することができました。全員がそろった各教室では、子どもたちの弾ける笑顔や真剣なまなざしがとても印象的でした。長きにわたり、保護者の皆様には、感染防止のための外出の自粛をはじめ、健康観察、学習面での指導や励まし、食事の用意など、ご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。心から感謝を申し上げます。

まだ一堂に会しての集会はできませんので、放送を通して私から子どもたちに次の内容を伝えました。

（前略）次に、新型コロナウイルスのお話です。大人も子どもも、みんながウイルスから自分や大切な人を守るために、外出を控える、マスクをつける、手洗いをしっかりする、ソーシャルディスタンスという人との距離をとって生活するなど、努力したおかげで、ここ3週間、福島県内で新たに感染した人は一人も出ていません。でも、安心してはいけません。まだウイルスはなくなっていないからです。ウイルスに感染していても、熱や咳などの症状が出ない人がいます。その人がウイルスを他の人にうつしてしまうかもしれません。その人はもしかしたら自分かもしれません。

以前、校長先生が話した3つのことを覚えていますか。これからも守ってほしいと思いますので、もう一度お話します。

1つ目は、「こまめに手洗いとうがいをする」ということです。何か活動したら、しっかり手を洗い、うがいもしてウイルスを体の中に入れないようにしましょう。

2つ目は、「必ずマスクをつける」ということです。マスクをつけることは、人にウイルスをうつさないためにとても大切です。周りの人への思いやりでもあるのです。体育の時間など、先生に外してもよいと言われたとき以外は、マスクをつけるようにしましょう。

3つ目は、「3つの密をさける」ということです。3つの密とは、「換気の悪い部屋にいる」、「手の届く距離に多くの人がいる」、「マスクをしないで近くで人と話す」ということです。教室内の空気を入れ換え、お友達と1m以上離れて生活するようにしましょう。

福島三小には、「当たり前のことが、当たり前にできる」という素晴らしい伝統があります。あいさつや無言清掃、下駄箱の靴の並べ方などもそうですね。これからは、今、校長先生が話した3つのことも「当たり前のようにできる」ようになってください。自分を守るため、家族や友達など大切な人を守るためです。福島第三小学校のみなさんなら必ずできます。校長先生も先生方もそう信じています。

ご存じのように、北九州の市立小学校で小学生５人が新型コロナウイルスに感染するというクラスターが発生しました。本校でも緊張感をもって引き続き感染防止に努めてまいります。特に、子どもたちが新型コロナウイルス感染症を正しく理解し、感染のリスクを自ら判断し、これを避ける行動をとることができるようにすることが何より大切です。学校でも指導してまいりますが、ご家庭でも折に触れ、お子さんへのご指導等をよろしくお願いいたします。また、今年度新たに立ち上げた「福島三小サポータークラブ」の会員の皆様には、今後、消毒作業にご協力をいただけることになっています。紙面をお借りして御礼を申し上げます。

学校は子どもたち一人一人が成長できる大切な学びの場です。授業はもちろんのこと、教育活動全体を通して、全校生３２２名が安全に、そして健やかに成長できるよう取り組んでまいります。ご心配なことなどありましたら何なりとご相談ください。よろしくお願いいたします。

令和２年６月１日

福島市立福島第三小学校長　佐 藤 秀 美